

LCD 液晶付き 一酸化炭素アラーム 日本語説明書

特徴

音量：約 85dB

概要：一酸化炭素センサーアラーム

電源：単 3 形電池 2 本（別売）

- ・本体が動作している場合は、40 秒に 1 度緑色 LED が点滅します。
- ・通常の状態では、LCD 液晶は点灯しません。TEST/RESET ボタンが押された場合、CO 濃度が 30ppm を超えた場合に点灯します。
- ・高レベルの一酸化炭素を検知した場合、警報が鳴ります。警報音は 4 回の短いアラーム音です。また、アラーム中は赤色 LED が点滅します。
- ・TEST/RESET ボタンを押下すると、警報の動作を確認することができます。また、警報中に押下した場合は、アラームを止めることができます。
- ・本体がアラームを発し、その間に TEST/RESET ボタンが押されていなかった場合（アラームが止められなかった場合）、TEST/RESET ボタンを押すと最初の 1 回に限り 1 分間、警報時の検知レベルが LCD 液晶に表示されます。また、その間は緑色 LED が点滅します。
- ・バッテリーが少なくなると 40 秒ごとに 1 回のビープ音が発生し、LCD 液晶に「Lb」が表示されますので、電池の交換を行って下さい。
- ・電池を装着してから 1 分後に、CO 検出を開始します。

仕様

感度と時間

50ppm、90 分以内に警告

100ppm、40 分以内に警告

300ppm、3 分以内に警告

スタンバイ電流：<80uA

アラーム電流：<80mA

動作環境：4.5℃～37.7℃、20～90%R. H.

インストールガイド

※本体は、壁・天井に取り付けられている必要があります。

推奨設置箇所：

リビングやベッドルーム、廊下など各箇所設置することをお勧めいたします。

- ・廊下や部屋で、長辺が 9m 以上離れている場合：その両端にアラームを設置してください
- ・天井にアラームを設置する場合：天井の中央且つ側壁から最低 10cm 離れた場所に設置して下さい
- ・壁にアラームを設置する場合：天井から 10cm から 30cm 以内の範囲に設置してください

アラームが 1 つしかない場合は、主寝室内や主寝室の外側の廊下の設置をお勧めいたします。また、ドアを閉じた状態でもアラームが聞こえることを確認してください。

推奨しない設置箇所：

キッチンの扉、浴室、エアコンや窓、玄関・ドア付近や換気扇などの風通しが良い場所、またはその他の高風量の箇所。極端にほこりや汚れ、油分等の多い箇所。気温が 4.4℃以下、37.8℃以上の箇所。湿気の多い箇所。家庭用化学薬品を使用する箇所。蛍光灯から 30cm 付近（電子ノイズにより誤作動を起こす可能性があります）

ステップ 1

取り付け方法

1. アラーム本体をねじり、アラームの背面からブラケットを取り外し、電池を入れます。
2. アラームの設置箇所を選定し、天井または壁に垂直に 2 つの 2.50mm の穴を 60mm の距離で穿孔し、穴に 2 つのプラスチックのパーツを取り付けます。ブラケットに 2 つのネジを通し、天井に取付けたプラスチックの穴にしっかりとねじ込みます。
3. 天井に取り付けたブラケットにアラーム本体の後ろの矢印をブラケットの矢印に合わせ、アラームを取り付けます。

ステップ 2

アラームテスト

TEST/RESET ボタンを押下し、アラーム音の確認を行うことができます。

また、本体は毎週動作テストすることを推奨いたします。万が一本体が動作しない場合は、電池が入っているか、または電池残量が十分であることを確認してください。また、本体へのほこりや汚れの付着がないか、温度が極端に上昇していないかを確認してください。

リセット機能について

アラームが鳴っている場合は TEST/RESET ボタンを押すと条件により数分間アラームが消えます。この期間を過ぎて尚、一酸化炭素の検知が続くとアラームが再起動します。

- ・検知一酸化炭素量が 70ppm を下回った場合、アラームは再起動しなくなります。
- ・検知一酸化炭素量が 70ppm から 200ppm の場合、アラーム停止時間は約 5 分となります。
- ・検知一酸化炭素量が 200ppm を超えている場合、アラームは停止せずすぐに再起動します。

アラームメモリ機能について

本体がアラームを発し、その間に TEST/RESET ボタンが押されていなかった場合（アラームが止められなかった場合）、TEST/RESET ボタンを押すと、警報時の検知レベルが LCD 液晶に表示されます。また、その間は緑色 LED が点滅します。

再度ボタンを押すと通常の動作に復帰する他、1 分間の表示後は自動で通常の動作に復帰します。

本体がアラームを発し、その間に TEST/RESET ボタンが押されていなかった場合（アラームが止められなかった場合）、TEST/RESET ボタンを押すと最初の 1 回に限り 1 分間、警報時の検知レベルが LCD 液晶に表示されます。また、その間は緑色 LED が点滅します。

アラームの点検について

・週に一度、本体動作の確認してください。TEST/RESET ボタンを押下して、ユニットのアラームと LED ライトの動作を確認してください。また、本体へのほこりや汚れの付着がないか、温度が極端に上昇していないかを確認してください。

・月に一度、本体のクリーニングを行って下さい。ブラケットから本体を取り外し、柔らかいブラシでアラームカバーと通気口を掃除し、ほこりや汚れを取り除きます。クリーニング後は、TEST/RESET ボタンを使用して動作確認してください。

※以下の事項は故障の原因となりますのでお止めください

洗剤などの溶剤を使用、CO アラームの近くでの空気清浄機、ヘアスプレー、または他のエアロゾルを噴霧、本体の塗装、本体の分解や内部の清掃など

ご注意事項

※このアラームは、一酸化炭素を検知し警報を発する装置です。それ以外の気体等には反応しませんので、予めご了承下さい

※当商品の使用中及び使用により生じた如何なる損害・被害も弊社ではその一切の責任を負いかねます。

(参考資料)

一酸化炭素の影響について

空気中のCO濃度	有害ガスが人体に作用する時間
9ppm (0.0009%)	ASHRAEによるリビングルームにおける短時間最大許容
35ppm (0.0035%)	8時間滞在する場合の最大許容濃度
200ppm (0.02%)	2～3時間滞在において、わずかに頭痛、疲労感、目まい、吐き気等の症状が表れる
800ppm (0.08%)	45分で、目まい、吐き気、ふるえ 2時間で意識不明、2～3時間で死亡
1600ppm (0.16%)	20分で頭痛、目まい、吐き気 1時間で死亡
3200ppm (0.32%)	10分で頭痛、目まい、吐き気 30分で死亡
6400ppm (0.64%)	1～2分で頭痛、目まい、吐き気 10～15分で死亡
上記の数値と症状は一般的な記述であり、この説明を利用するにあたり、いかなる責任もちません	
10,000ppm = 1% ASHRAE : アメリカ暖房技術協会	

保証書

品名・型番			
注文番号			
お客様	お名前		
	住所		
	電話番号		
お買い上げ年月日日	年	月	日
保証期間			
販売店	〒733-0012 広島県広島市西区中広町1-6-7-2F Goods Land TEL 082-554-5888		

※保証書を使用する場合、事前に購入店までお問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。